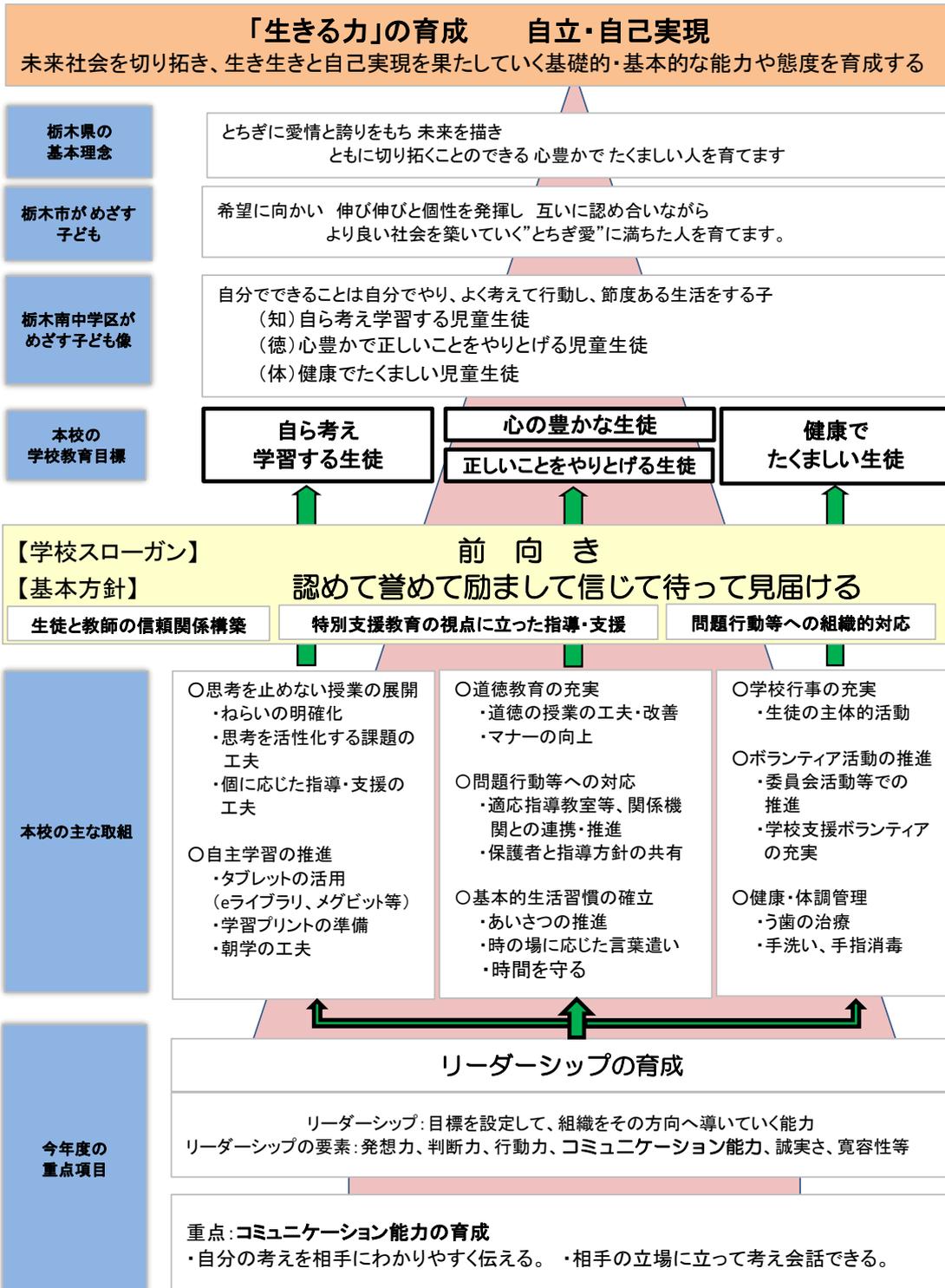


学校経営方針

栃木市立栃木南中学校



経営方針について

学習面では、今まで以上に個に応じた指導・支援を充実させ、やらされるのではなく、自ら進んで学習する生徒の育成を目指す。実力テスト(新教育)の学校平均で、県内実施校のトップ3を目指す。

生活行動面では、令和4年度に引き続き、リーダーシップの育成を重点項目とする。自分の考えを相手にわかりやすく伝えること、相手の立場に立って考え会話できることを具体的な行動目標として小学校と連携しながら、小中一貫教育の中で、推進していく。今年度も、いくつかの場面でマナーについて考え、実践する機会を増やす。

健康面では、今年度も新型コロナウイルス感染症対策を十分に行う。

本校の主な取組について

○思考を止めない授業の展開

<ねらいの明確化>

- ・1単元や1単位授業のねらいを明確にし、ねらいを達成するための適切な学習活動の展開の工夫する。

<思考を活性化する課題の工夫>

- ・ねらいに即した、深まりのある話し合い活動を行う。
- ・定期テストの観点別問題のバランスをとる。思考力(観点)問題の割合を4割以上を目指す。
- ・市教委等の要請訪問や他校の良いところを学ぶ機会を設けるなど、教員の指導力向上の研修の充実を図る。

<個に応じた指導・支援の工夫>

- ・全国学力テスト、とちぎっ子テスト、実力テストの実施前に必ず過去問を実施し、対策を行う。
- ・生徒が教員に対して質問しやすい環境づくりに心がける。
- ・生徒個々の能力に応じた学習プリント(電子データ)や興味・関心のある資料を準備したり、示したりする。

○自主学習の推進

<タブレットの活用>

- ・生徒の自主学習としてeライブラリの活用、メグビット等の活用を図る。
- ・デジタル教科書を計画的に活用する。(数学、理科、公民英語)

<学習プリントの準備>

- ・復習問題プリント、発展問題プリント、生徒の興味・関心のある資料、問題等をプリントコーナーに配置する。
- ・原則、単元ごとに入れ替える。
- ・授業において、学習プリントの活用方法等について指導する。

<朝学の工夫>

- ・1、2年生より、朝学(英語)を実施する。1年生の1学期は数学、2学期からは英語。
- ・3年生は、学年に応じた朝学を実施する。

○道徳教育の充実

<道徳の授業の工夫・改善>

- ・学年主任のリーダーシップにより、学年内での学級担任が道徳の授業についての研修をし、授業力向上に努める。
- ・道徳教育推進教師が中心となり、道徳の指導や評価の研修を実施する。

<マナーの向上>

- ・生徒会役員、学年、専門委員会等でマナーについて考えさせる機会を設け、実践する機会を増やしていく。

○問題行動等への対応

<適応指導教室、関係機関等との連携・推進>

- ・関係機関と連携、指導・支援については、生徒指導主事が中心となり、関係機関と指導方針を共有し、適切な指導・支援を行う。
- ・迅速、丁寧な報・連・相を行う。

<保護者との指導方針の共有>

- ・保護者と指導方針を共有しながら指導・支援を行う。

○基本的生活習慣の確立

<あいさつ運動の推進>

- ・教員が生徒や来校者に対し、積極的にあいさつ、声かけを行う。
- ・職員室へ入室する生徒や来校者に対して爽やかな対応をする。

<時と場に応じた言葉遣い>

- ・公私の状況を踏まえ、教員自ら言葉遣いをの手本を示し、的確に指導する。
～です ～ます。ありがとうございます。すみません。ごめんなさい。お陰様で～。

<時間を守る>

- ・生徒の立場に立った時間の設定と教職員の示範。

○学校行事の充実

<生徒の主体的活動>

- ・生徒会役員、専門委員、実行委員、学級委員等、生徒が自主的、主体的に活動できる環境を設定する。

○ボランティア活動の推進

<委員会活動等での推進>

- ・校外での活動も含め、生徒会役員や各委員会が中心となり、ボランティア活動を計画・実践する。
- ・長期休業中の清掃活動以外に、校内、校外を問わず、部活単位でのボランティア活動を実施する。

<学校支援ボランティアの充実>

- ・地域連携教員が中心となり、地域COと連携して、学校支援ボランティア導入の更なる充実を目指す。
- ・ミシン、調理ボランティア(家庭科)、通訳ボランティア(英語)、面接ボランティア(進路)等

○自己管理能力の向上

<う歯の治療>

- ・学校歯科医が丁寧に検診し、きめ細かい指導を行っていることから、今年度もう歯の治療率向上に継続して取り組む。

<手洗い、手指消毒>

- ・コロナ感染防止対策